

## 村立幼稚園の再編整備に関する説明会 会議録

令和2年10月9日（金）

午前10時30分～午後12時20分

東海文化センター ホール

### 【開会】

只今から、村立幼稚園の再編整備に関する説明会を始めさせていただきます。

### 【村長説明】

こんにちは。東海村長山田でございます。本日はお忙しい中、こうして文化センターまで、お集まりいただきまして本当にありがとうございます。

このような場を設定しなければならなくなったことを、村長としても大変反省しております。今回このような形で突然の説明会を開催し、皆さんがなかなか納得できない内容となり、改めて私の方から説明するような事態を招きましたことは、村長としても大変反省し、皆さまに不安と混乱を与えてしまったことに対しまして、改めてここでお詫び申し上げます。

その上で、今日、私の方から改めてご説明させていただきますが、まだまだ皆さんの疑問や不安に十分答えられない点は多々あります。今後どうしていくかということについては、今日だけではなくて、この後も含めてしっかり考えていきますので、今日、できるだけ皆さんからのご質問を受けたいと思いますので、よろしくお願いします。

令和4年度末で須和間幼稚園と舟石川幼稚園を閉じるという話をさし上げましたが、今回、1年遅らせていただきます。皆さま方から、特に須和間幼稚園と舟石川幼稚園の保護者の皆さまからのアンケートの結果は全部届いておりまして、これは全部読ませていただきました。

なぜこのようなことが先にわからないで計画を出したのかとご批判もあると思いますが、私自身、最近、子どもさんが減っているということを意識はしていたのですが、ここまで急激に減るとは思いも至りませんで、危機感を感じたというところでもあります。しかし、(再編整備の)説明のタイミングがどうなのかということはお指摘の通りだと思っています。

議会にも9月下旬に説明し、「保護者の理解を十分得て進めるように」と言われ、須和間幼稚園、舟石川幼稚園の地区に住んでいる議員の方々からは、「きちんと検討期間を設けて進めるべきだろう」という申し入れ書も出されました。議会からの意見、保護者の皆さまからの意見を総合し、このまま性急にことを進めるのは決して良いことではないと判断し、今回1年、検討期間を設けながら進めていくことを決断しました。

いずれ閉じるにしても、やはり最後まで学区に幼稚園を残すということは、学区のお子さんは学区に入っていただきたいという想いは村としては持っておりますので、原則として入園パターン①のお住いの学区の幼稚園に預けていただくというのが一番良いと考えました。ただ、個別の事情があると思いますので、柔軟に対応するという考えを持っておりますが、改めて、村としてはパターン①を基本線として考えているところです。

次に、幼稚園の保護者の代表者や地域の代表者、幼稚園の先生、子育て支援課、村の関係各課、建設関係も含めて構成する検討会議を設置します。来月から設置しまして、主な協議事項としては、最終的に統合される村松幼稚園周辺の安全対策や、登園・降園時の交通手段、園バス。これもいろいろな方から言われていますので、私は、単純に大型のスクールバスを出せば良いとは考えていませんので、子どもたちの負担や保護者の皆さまの事情を考えたときに、どういうシステムがいいのかを考えていきたいと思っています。場所（幼稚園）が移って、保護者に「従来通りお願いします」という話ではないので、そこはしっかり考えていきたいと思っています。あとはご自身で送る場合の駐車場の確保や、周辺の交通、単純に一方通行にするというのは、地域住民の意見のいろいろなご意見もありますので、すぐは決められないですが、どのような安全対策がとれるのか、検討したいと思います。また、各園でやってきた特色ある事業ですとか、地域との交流、いろいろな体験活動を新しいところでどのように展開していくのか、そこもきちんと皆さんにご説明できるように考えていきたいと思っています。

意見書で書かれた「幼小連携」ということですが、学区ごとに幼稚園があり、そこが小学校とつながり幼小連携ができるというのが一番の魅力でありましたが、就学前のお子さんについては、保育所・保育園に預けている方、公立幼稚園に預けている方、私立幼稚園に預けている方、こども園に預けている方、いろいろな方がいらっしゃいますので、皆さんそれぞれ小学校との接続がどのようになるかというのは一番気になっており、私立幼稚園だけではなくて、幼小連携の在り方というのは、さらに大事になっていくと思いますので、その課題についても、検討の途中経過を随時お知らせしながら、納得していただけるようなものにしていきたいと思っています。

この検討会議をやるに当たり、下部組織でワーキングチームをつくります。そこには現場の先生方、教育委員会にも入ってもらい、幼稚園教育を中心に、協議する場を設置します。先生方が中心になるので、クラス運営をどうするのか、園児の受入れ、これまで少人数で良かった教育内容、集団になじめないお子さんの対応などをどうするのか、預かり保育をどうするのか、お弁当や給食についても検討していきたいと考えております。

このように二段階の組織を作りまして、丁寧に進めていきながら途中経過を皆さんに御説明しながら進めてまいります。統合までの皆さんの不安をできるだけ解消できるような形にしていこうと思っています。

また、来年度の募集時期の直前にこの話が出ましたので、結果的に来年度の入園児は卒園までいられますが、令和3年度の新入園に関する募集については、例年より1ヶ月くらい遅らせて、考えていただく時間を設けようと考えています。

今回、今後の進め方を説明しましたが、そもそもなぜ見直しをすることになったのかというのを私の方から資料で説明したいと思いますが、(5ページの)資料は、各村立幼稚園の園児数です。見てもおわかりのとおり、ほぼ右肩下がりでですね。石神幼稚園だけ令和2年度が増えていますが、学区外から入園していることもあり増えていますが、それ以外は学区の中でどんどん減っております。

村全体の出生数が、毎年減少し、最終的に保育所に預ける方が、半分くらいおりますので、残った幼稚園ニーズの中で、私立幼稚園を希望する方を除くと、私立幼稚園に預ける方が減少することは予想できるところであります。ある程度予想はしていたのですが、こ

これまで保育所の方のニーズが増え、幼稚園の希望者が減るというのは私も想定外でした。学区ごとに見ると、石神幼稚園はずっと1クラスですけれど、舟石川幼稚園と須和間幼稚園はずっと2クラスでキープできていましたが、昨年あたりから1クラスになり、今年の舟石川幼稚園が、3歳児が8人しか入らなかったことに私も驚きました。舟石川幼稚園の舟石川学区は小学校の新入生の数も100人弱くらいいますので、この地区はそんなに子どもさんが減らないと思っていたのですが、一桁になったことが私も意外でして、ここまで減ってきてしまっていることを考えたときに、このままずっと維持していくのは難しいと考え、今回このような形の再編をやむを得ないと判断したところであります。

また、舟石川幼稚園と舟石川保育所は、こども園にするという話があり、それがいつの間にかなくなってしまったということについてもご質問をいただいております。これについては、もともとは舟石川保育所の定員を30人くらい増やし、舟石川幼稚園の建て替え、舟石川保育所の建て替えも合わせて、両方の要素でこども園を作ろうと思っていたのですが、保育所の待機児童がどんどん増え、それをそのまま放っておけないということがあり、役場の隣にリース物件で、臨時保育所を作りました。93人の定員ですけれど、これを作ったことで、舟石川保育所の定員増で保育所の受け皿としようと思っていたのを、先に保育所を作ったことで、舟石川幼稚園と舟石川保育所のこども園という構想が、そこで見直さざるを得なくなってしまいました。喫緊の課題で待機児童の解消を優先しましたが、それによって幼稚園の方に影響があるということを、保護者の方にきちんと伝えることを失念したことを今では反省しております。その説明が足りなかったということで、余計に皆さんに不信感を与えたと思いますが、一方で待機児童の解消も喫緊の課題でありましたので、今回先に保育所を整備したことは間違っていないと思うのですが、それによって幼稚園の方に影響を及ぼしたことについては、もっと説明をしておくべきだったことを反省しているところであります。

もうひとつ、石神幼稚園だけ統合時期がずれていることに対しても、おかしいだろうという話がありました。石神幼稚園は昨年度から3歳児、4歳児を一緒のクラスにするとか、いろいろ工夫し、今年度から学区外からの入園も認めるようにしたのですが、石神幼稚園はもともと石神小学校の空き教室を使って残そうという発想がありましたので、小学校との連携や、預かり保育を長くするとか、そういう取り組みを先に進めており、実績もありました。それを続けてみたいというところもあり、それが今後、村松幼稚園に統合した後の課題になっている預かり保育の延長ですとか、給食の提供とか、テストケースとしていろいろやれるということがありますので、石神幼稚園でそういうものを実践しながら、良いものを村松幼稚園に取り込むということで、その期間、石神幼稚園を延ばしているということです。これらも須和間幼稚園と舟石川幼稚園でもやれば良いという話もありますが、全体の園児数が減っている中で、すべてでやるわけにもいかないもので、先行している石神幼稚園を優先させていただきたいということでもあります。

私の説明は結局統合に向けた説明に終始しておりますが、皆さんにとって、学区に必ず幼稚園があるべきだということも、そこは十分受け止めております。そこを守り切れなかったということも悔しいですけれど、やむを得ないと感じております。ただ、お子さんにとっては、今後幼稚園が村松幼稚園となったときに、本当にこれまでの村立幼稚園の良さが継承できるのか、本当にいろいろな安全対策も含めて保護者に寄り添って、本当に運営でき

るのかというところが問われていると思いますので、そこについては、しっかり検討会議の中で詰めていきたいと思いますので、なにとぞご理解をいただきたいと思います。

私の話ばかり長くなってしまうと質問時間がなくなりますので、私の方からは以上としますので、あとは質問にお答えしたいと思います。

.....

### 【質疑応答】

#### Aさん 質問①

今、説明いただいたように、私立幼稚園だけを注目して園児が減るという資料がありますが、以前幼稚園で配られたものは、園児数の合計は1,200～1,300人で推移しているので、私立の幼稚園に入る園児は減っているかもしれないが、トータルの園児数はそんなに変動がないように見える。そのため、まず統合ありきのように見えるのです。まず私立幼稚園を残したいと思っているかどうかで、分析の仕方、見方が変わると思います。残したいと思っているのならば、なぜ私立（幼稚園）は選ばれないのか、そこ（の原因）を突き詰めて、残せるようにしたらよいのではないかと思います。最初のスタートラインが皆さん納得できていないと思うのです。なぜ統合しなければならないのかというのをわかっていないので、村としてどのような意見をお持ちなのかをお聞きしたい。

#### Aさん 回答①〔村長〕

数字をいろいろ出して、取り方はいろいろあると思います。確実に子どもの数が減り、保育所のニーズが増えていることは間違いないのです。そうすると、総数が減り、保育所のニーズが増えているということは、当然、幼稚園ニーズが減ってきているのです。私立幼稚園のニーズは一定程度ありますので、公立幼稚園ニーズが減っており、特色を出して、入園者を多くすればいいだろうということもありますが、今のところは学区ごとにあることで、これまでの教育を評価いただき預けていただいていると思っているので、さらに魅力を高めるために預かり保育を長くする等の方法はあるのかもしれませんが、そこまでは、確かにできていません。そこまでして「(公立幼稚園を)絶対に残すのだ」という覚悟があるのかというと、そこまでは考えていないのは事実です。

行政運営で園を残すということは、当然、施設と人を残すということなので、この後、建て替え問題などが出てきますので、その時に1クラス10人で、3学年で30人の幼稚園をこの先10年、20年残せるのかというと、村長として行政全体を考えた場合、そこまでは難しいと判断しております。そのため、「絶対残すから、絶対統合しない」というのは今のところないです。

逆に言うと、小学校だけは何があっても残したいという想いは持っております。幼稚園については就学前（教育・保育を受ける施設）が、いろいろと選択肢がある中で、公立幼稚園だけをどうしても残さざるを得ないのかというと、そこまでは今、私は考えていません。

#### Aさん 質問②

今、村長さんの話の中で、建て替えの話が出てきたので、正直いろいろな背景があると思います。当然、財政面、幼稚園の無料化ですね、あと建屋の老朽化、地震対策、もしかしたらあるのかもしれませんが。そういったいろいろな条件があった上での総合的な判断が統合だとおっしゃられるのであれば、「財政面はこうです」というのを、きちんと並べていただいて、「じゃあ再編は仕方ないですね」、あるいは「いや絶対だめだね」といった我々側の、保護者側の意見が決まってくると思います。

財政面から見たら、200億円規模の会計を持っているわけではないですか。その中で、総事業費9億円の舟石川のこども園が、資料に「9億円」だけ出てくるわけですよ。9億円は、200億円規模の年間会計の中で、毎年いくらかかってくるのですか。1年間の1回だけの会計に9億円が降りかかってくるのですか、違いますよね。たぶん分散していますよね。数字がね、出し方がわからないのですよ、僕らには。突然ぼんと出てきました。

一方で新しい施設を作っているところもありますよね。きっとお金がすごいかかっているでしょう。でもそれはインパクトがあるのかないのか、わからないですけど。ぜんぜん我々は説明を受けていないですから。いろいろな園児の数だけに注目して出されていますけれど、そのほかの外堀をきちんと説明されていない。そこをきちんと説明して欲しい。その説明を受けた上で、「結局、統合はやむなし」と。統合の仕方ですよ、次に一つにするのが良いのか、二つにするのが良いのか。どうするのか。そういう話があって、このワーキングという話になってくると思うのです。最初の段階が落ちたまま、途中から試合に参加しているような感じです。きちんと最初から説明をして欲しいというだけなのです。私は。

#### Aさん 回答②〔村長〕

今日ここで、私が口頭で財政状況を説明しても、たぶん皆さんもすぐにはわからないでしょうから、資料として提供しなくてはならないでしょう。それは別途、私の方で財政状況とか、いろいろな考え方、交流館の建設ですとか、皆さんの疑念についてはお応えできるものは別途作り、皆さんにお渡ししたいと思います。

#### Bさん 質問①

やはり白紙撤回はなかったわけで。前回、教育長が（保護者説明会に）来たときの説明と今回の説明が全然違いますよ。村長は人数しか言っていない。教育長は「人数が少ないと競争ができないから」とか、そういうことばかり言っていましたから。5年前の2015年10月に「まち・ひと・しごと創生東海村総合戦略」を出しましたよね。5ページ目に「安心して子どもを産み育てられる満足度をアップする」、その目標が平成31年度60.3%を目標にするって掲げていました。統廃合は、子育てにやさしいですか。

しかも今、現在利用中の親だけを集めて、地域の人なんてぜんぜん集めていないですよ。駅の近くの路線価は2倍から3倍ですよ。そんなところに家を建てて、これからがんばろう、子育てもしようなんていう人はなかなかいません。実家に家を建てて須和間幼稚園に、舟石川幼稚園に通わせて子育てをしようと、みんなささやかにそうやって思うのじゃないですか。今、国の地域創生の政策で、駅前からきれいにしていますよね。それはいいと思うのですよ。なんで幼稚園まで集めるのか、僕はよくわかりません。

村長、3.11（東日本大震災）のとき、村内を歩きましたか。地震の後すぐ。原研道路、JRの陸橋が、5センチくらい差ができて、大渋滞でしたよ。次の日の夜中までずっと。そんな中、信号もついていない、災害が起きたとき、お腹が大きいお母さんが乳母車をひいて、南台まで行けますか。地域を崩壊させないで欲しいよ。さっき言ったみたいに、駅の周囲2.5キロの人たちは、まあまあお金もあって、うまく生活していて、駅周りは、何も言わなくてもみんないい家を建てて、いっぱいいるじゃないか。村は後押しする必要はないんだよ。もっと外れたところだよ。僕が白方小学校に通ったときはたくさん人がいた。だけど、僕の同級生は誰も戻ってこないよ。そういう村長の姿勢が嫌なんじゃないの。と僕は思うよ。反省したほうがいいと思う。

あと、地震だけじゃなくて、例えば今、パイプラインをつくっているじゃないですか。LNGの。あれ爆発するの、爆発しないの、説明なにもないもんね。LNGのタンク、もしくはタンカーが大爆発したらどうするのか。5キロ圏内が吹っ飛ぶほどのエネルギーらしいですよ、皆さん。東京ガスの説明では、LNGのタンクは爆発すると上に吹っ飛ぶらしいです。横に吹っ飛んだら原発だってなんだってめっちゃめっちゃだから。そういうときに、村松幼稚園に自分の子ども。どうすればいいんですか。行けるんですか。村長もあれだよ、乳母車を押して南台から村松幼稚園まで行ってみればいいんだよ。すごく考えていないと思うな。一人ひとりまで。数がどうのこうのじゃないよ。自分の地域で幼稚園はあるべきなんですよ。

那珂市で去年、幼稚園、すごい統廃合ありましたよね。わかりますよね。先ほど村長は小学校を残すとか言っていましたけれど、国の政策だもん。教員を減らして出費を減らすんでしょうよ。銚田市、すごい統廃合をしましたよね。茨城県、一気にやると大問題だから、徐々にずらしてやっているんじゃないかなと思うんですよ。村長が今までやってきたこと、ものすごく台無しになっちゃうんですよ。ここは国にも県にもびしっと言って、「住民のために残したいんだ」となんで言えないかなと思います。まとまりが悪いですけど、以上です。

#### Bさん 回答①〔村長〕

それぞれの地域に住んでいる方は、それぞれの地域の良さを感じていますし、そこで子育てをしたいというところは、ごもっともだと思います。「まち・ひと・しごと創生」で子育てにやさしい街と標榜していますので、それと逆行していますので、統合するわけですから、御批判は甘んじて受けざるを得ないと思っています。

災害時の対応、保護者のみなさんを安全に守るのが、役場の使命だと思っていますので、幼稚園だけではなくて保育所や小学校もそうですから、災害時にはまず学校や幼稚園、現場でしっかりと対応します。園舎が、危険性が高ければ、より安全な場所に、先生方の協力で、移動させていただくということで。それは、保護者の皆さまに役場が責任を持ってやるというのは、どんな災害があってもそれは、対応してまいります。LNGは別の話だと思うのですが、そういういろいろな個別の事情がありますけれど、いずれにしましても、何か災害が起きたときに、きちんと子どもの安全を守るというのは役場の使命ですので、そこはしっかりやっていきたいと思っています。

地域の良さである幼稚園や小学校を守っていくというのは、先ほど申し上げましたが、

小学校については、県の教員配分で人数が決まっていますから、この先生しか来ないところを、(村は) 独自で(加配しています)。県内でもうちとあと1か所しかないですから。あとはもう国や県の言いなりでやっていますから。そういう意味で言うと、きちんと村として残すべきなら残すという気持ちでやってはおります。幼稚園も同じようにやればいいというのは、今回は、就学前は幼稚園だけではなく保育所もあって両方を見ていくということもありますので、その中で幼稚園は統合せざるを得ないと。先ほど財政的な背景を含めて、そこに至った経緯の改めて資料をお配りしますが、決して、各地域を軽んじているわけではなくて、ただ時代の流れにある程度合わせなくてはならないですし、時代にあらがうこともやってはいきますが、すべて皆さま方の要望をすべて聞き入れられるわけではないというのが現状ではあります。

#### Cさん 質問①

今日、ここに来られなかった人からの手紙を預かっているので、代読をさせてください。「村長、教育・子育て関係者様、本日は残念ながら学校があるので行けません。申し訳ありません。2年で幼稚園を閉じるということはどういうことですか。たった2年で閉じるということを知って、驚きました。普通は2年という期間では閉じないでしょう。なぜ2年なんですか。2年という期間でなければならぬ理由があるのですか。あなたたちは、本当に東海村を愛しているのですか。あなたたちのような人に幼稚園を渡したくないです。」

これは私の小学生の娘が、今朝私に託してきた手紙です。今回のことは幼稚園での説明会の資料を娘が見て、私を書きなさいと促したわけでもなく、娘が自分の意志でどうしても「こんなに短いあと2年、3年という期間で終わるとするのは納得がいかない」と伝えてきました。

今回、「1年間繰り延べします」と変わってありましたが、2年も3年もそんなに変わらない、とても急な話だと思うのです。

あと、舟石川幼稚園の保護者ですが、次期年少児のわんぱくサークルがありますが、今年わんぱくサークルに15組ほど集まっているようです。確かに今年の年少児は8人と少なく、統合は仕方がないかもしれません。もう少し猶予をもって、村立幼稚園に子どもが来られるように、保護者も含めて努力をした後に期間を決めてもらえないでしょうか。「1年間繰り延べします」と決定事項のように書いてありますが、集約時期をもう少し延ばすということで、今後、有識者の方、保護者の方と話し合っていけないでしょうか。お願いします。

#### Cさん 回答①〔村長〕

今回、1年延ばしましたが、いろいろな考え方あります。園を閉じるというのは、どこかで(園児は)転園という話になりますので、どこまでを限度とするかは、非常に悩ましいです。十人切ったら閉じるのかと。単純に数で切ったらいいのか、私は非常に悩んでいます。私は最初に在園している園児さんが卒園するまでは残すべきであると考え、最低でも令和4年度までとしました。兄弟で、いろいろなご事情があって、きれいに割り切れるものではないという話を伺い、その中で1年間をかけて、最終的に納得まではしてもらえないかもしれませんが、一定の理解が得られるように進めたいと思い、現時点におい

ては再編については1年の繰り延べで進めてまいりたいと考えております。

Dさん 質問①

今後は、保育園の数を増やす予定はないのかというのが1点(目の質問)。あと、今回、「村松幼稚園の集約に際しての課題等の解決に向けてワーキングチーム会議を設置して準備して進めます」というのがあるんですが、それをどのくらいを目途に決定と言いますか、準備を進めていくのでしょうか。実際に会議で決まって、実際に運営を進めていくのはいつぐらいを予定しているのかというのを教えていただきたい。今、私の子どもが0歳なので、もしこのまま幼稚園に入れるのか、保育園に入れるのかというのを考えると、例えば2歳とか3歳とか、途中から保育園に入れるのはすごく大変なので、そう考えると1歳というのはとても貴重な時間なので、いつまでにそのような具体的な策が決まるのかというのが気になるところです。

Dさん 回答①〔村長〕

最初の質問の保育所ですが、今年の待機児童は4月の段階で2人(でした)。去年が9人でしたので、2人に待機児童は減りました。待機児童は、「どこでもいいから(保育所に)入れて欲しいというのに入れない」という人ですので、「兄弟で一緒に保育所に入りたいたからもう少し待ちます」という入所待ちの人は、当初70人いて(今は)50~60人がいるということなので、今はけやきの杜保育所を開設して、年度途中で預けたい人を受け入れるようになっているので、ある程度は受入れができています。舟石川保育所を残したまま、新たに保育所を作り、小規模保育も4月から始まり、満員で受けられているので、ある程度、受け入れはできています。

ただ、4月時点で受入ができて、必ず保育所需要は年度途中で随時発生し、追いかけてこになっているので、今のところ他に新設する予定はありません。民間保育所も定員の増は難しいために、やむを得ず村が臨時保育所を作ったという経緯がありますので、これ以上増やす手立てはないために、保育所ニーズについてもこれ以上応えられない状況にはなっています。

検討のスケジュールリングですけれど、当然、来年度の入園間近では意味がないので、できるだけ早く、私の中では来年度の春先くらいには方向性といいますか、整理したものはお示ししたいと思っています。途中経過も含めて、11月から始めますので、年明け頃など、時点、時点で、情報提供はしていきたいと思っています。いずれにしても最終的に取りまとめは来年の春くらいまでにはしたいと思っています。

Eさん 質問①

この場で、1年間の繰り延べではなくて、再編計画そのものをいったん白紙にするということ村長に言っていただきたい。それで、保護者、地域代表者で、各幼稚園の教諭、子育て支援課の皆さんと、村の有識者で、再編内容のやり直しをやっていただかないと、保護者は誰も納得はできません。

園児数が減ってきているのはわかっているので、再編統合の話が出ることは、いずれは仕方がないとは思っています。「絶対すべての公立幼稚園を残せ」と強く思っている方もい

るかもしれませんが、大多数は、「なんらかの再編整備が起こるかもしれないことは、いずれはやむを得ない」とは思っています。でもそれは、「村松幼稚園ひとつにすべてを集約することではない」とも思っています。

前回（各園の保護者説明会）の説明でいただいた資料ですけれど、「令和8年に幼稚園，東海南中学区と東海中学区に，地域でバランスをとる」と書かれていた資料があったのですね。令和8年4月1日に，東海中学区に村松幼稚園，東海南中学区にはとうかい村松宿こども園で地域間のバランスをとる，幼児教育の選択をするとあるのですが，須和間幼稚園と舟石川幼稚園は東海南中学区にあるので，村松幼稚園に統合することは，再編整備にある計画と大きく矛盾しています。村松宿こども園の受け入れ枠はものすごく少ないので，舟石川地区と須和間地区の園児はこども園には入れません。まずそこで大きな矛盾が生じています。先ほどから皆さんが言っているように，もちろん地域間のバランスをとることも大切ですし，登校園，交通の問題を含めると，村が言っているのですから，東海中学区と東海南中学区にそれぞれ一つずつは，少なくとも希望園児が入園できる幼稚園なりこども園があるのがしかるべきだと思っています。それを「あそこの交流館にしろ」というのは別の話ですので，交流館の使用目的とか，皆さんいろいろ疑問に思っているところがありますので，別途村長からきちんと説明いただくとして，施設があそこまで進んでそこまでできるかどうかということもあると思うのですが，仮にも9億円という総事業費を想定して話はあったはずですから，つまり舟石川幼稚園，舟石川保育所，須和間幼稚園，そのあたり子どもたちが入る施設をまず作っていただきたい。そのためには一度，1年間繰り延べでなくて，今の村松幼稚園に統合することは白紙撤回にしていきたい。そこからワーキンググループを作ってどうしたいかを話し合ってもらいたい。

先程，けやきの杜保育所はリース物件ということですが，いつまでですか。10年間。私の前に質問された方でも，「保育所は増やさない」という話ですが，子どもが減ることばかり，幼稚園を使う子が減ることばかり想定していらっしゃるんですけども，少なくとも今，待機児童が2人，入所待ち50～60人の保育所待ちの方がいる。さらに，けやきの杜も10年間で結局なくなるということですよ。

石神幼稚園のみ，給食や保育時間の延長も行い，テストケースをやっているということで，全部の幼稚園でできない理由がよくわからないのですけれど，保育園に入れず，入所待ちをして待機児童の保護者が何を求めているかと言ったら，預けられる場所。そこを幼稚園が，石神幼稚園のように預かりを延ばし，給食を増やせば，その入所待ちの方も幼稚園，村立幼稚園を選ぶと思うのです。その可能性をいっさい考えずに，「幼稚園はこれから減る，減る，減る」しか言っていないのですが，「全部の幼稚園がやるわけにはいかない」のではなく，やってからそれでもやっぱり幼稚園を選ぶ保護者がいないという結果を出してからでないと，幼稚園には人が集まらない。減る一方だという押しつけをされても，やっぱり保護者は納得できません。

ぜひとも一度白紙に戻して，園児が減っていることに対して村が対策をして努力をする姿を見せてから，それでもだめだったらまずどう統合するのか，二つなのか一つなのか，おそらく二つ残すべきだと，村松幼稚園以外にもちゃんと残すべきだと私は思っていますので，そこで初めて，じゃあどのように課題を解決していくのかというふうではないと，村松幼稚園一園に統合ありきで，そんなものの代表にさせられて，課題を話し合えと言わ

れても、保護者は話し合いにすら参加したくない。望んでいない形のものを押し付けられて、ワーキングチームに入れと言われても、何も考えが浮かばないですよ。村松幼稚園に行きたくないですよ。行きたくないと言うと村松幼稚園に失礼かもしれませんが、村松幼稚園一つに統合される形を望んでいないので、まずそこから見直していただきたい。その時間すらないということですか。

#### Eさん 回答①〔村長〕

おっしゃることもよくわかります。ただ役場も、私は幼児教育もそうですけれど、農業政策や都市政策などをトータルで見えていますので、今回幼稚園について、「こうしたほうがいい」と、「あるべきだ」とは言わないですけれど、今こういう状況で、こうしていった方がいいと方針を出させてもらっていますので、まったくない中で、ゼロから検討するというのは、今は考えていないというところで、「気持ちに寄り添っていない」という批判を受けますが、村として方針を示させていただきますと。その中で検討をしたいと考えております。

幼稚園の学区という話がありましたが、確かに村立幼稚園を考えると、村松幼稚園と村松宿こども園しか残らないということですが、村が言う話ではありませんが、みぎわ幼稚園さんがあります。教育の中身は違うかもしれませんが、一定程度役割を果たしてもらっているという現状もありますので、そこを無視して村立だけで完結するというのもなかなか難しいと思っています。実際に、私立幼稚園と村立幼稚園の人数を見ても一定程度維持されている。そういうふうには評価されているというのもありますので、その存在を考えないといけないとも思いますので、そこを度外視して村だけでバランスをとるというのもなかなか難しいと思っております。

すべて皆さん方の合意を取りながら進めることは、理想ではあります。方針を出させてもらっていますので、ゼロから検討するというのは、今は考えておりません。

#### Eさん 質問②

もちろんみぎわ幼稚園さんのやり方があって、良さがあり、それが望ましいと考えている保護者さんもいますので、その考え方を否定はしませんが、公立を選んでいる保護者さんもいっぱいいます。そこは絶対に一緒にしないでください。

#### Eさん 回答②〔村長〕

私の方から幼稚園の教育内容は発言することはできませんが、それぞれを選ぶ方がおりますので、きちんと見極める必要があります。ただ、だからと言って公立幼稚園として各中学校区に一つ必要だと言われても、南中学区に村立幼稚園一つを残すというところまで判断をできないところであります。

#### Fさん 質問①

私は東海村に来てから2、3年という短い期間です。主人が「どうしても子育てにやさしいところだから東海村に行きたい」と、「そんなに優しいんだな」と考え、子どもを育てるという面では幼稚園しか頭になかった。今週の月曜日に児童センターで幼稚園が統廃合さ

れると他のお母さんに聞き驚いた。新しく須和間地区に新築の家が建っているので、お子さんも多いと思っていた。幼稚園が統廃合によりなくなるのは、さみしくなるお母さんも子どもさんもいると思うし、仲良くなったお母さんや子どもさんに「学区が違ったらもう会えないね」と言われたら、娘がどう思うか不安に思う。きょうだいを育てているお母さんが、こっちの幼稚園に行ってからそれから村松幼稚園に行くというのはかわいそうですし、本当にお母さんが大変だなと思う。できれば石神幼稚園でやっている給食を2、3カ月でもトライアルみたいな形でもいいので、いろいろな学区でやっていただきたい。たとえ最後がだめだったとしても、少しでも納得できる形になると思うのですけれど。それについての村長のご意見をお伺いしたいと思います。

#### Fさん 回答①〔村長〕

東海村に引っ越して間もないながらもこのような混乱した中でショックを受けていらっしやることがわかりました。私も子どもを3人育て、保育所の送り迎えで苦勞しました。幼稚園に預けている保護者の方は、子どもさんに遊びだったり学びだったりを求めていらっしやって、想いは強いのだと思いました。働いていないから単に幼稚園ではなくて子どものために、家庭だけではなくて幼稚園でもいろいろなことを学んで欲しいという想いがあって、その想いが強いというのは先日も直接（保護者の方と）話して分かったところです。ましてきょうだいで、小学校のお兄ちゃん、お姉ちゃんと幼稚園の子という繋がりということも私には欠けていた部分ではありました。今日改めて、その想いをすごく感じているところです。全部をひっくり返してゼロからと言えることが出来れば一番良いのですが、皆さんから鬼と言われるかもしれませんが、苦渋の決断として一定程度の方向性を出さなければならないと思っております。幼稚園教育の在り方は、集団教育だけが良いとは思っていません。大規模園になり、大きな集団になじめないお子さんはいらっしやると思っておりますので、どうやってケアできるのか（も課題だと認識している）。村松幼稚園は2階建てで立派な園舎ですけれど、少人数のためのクラスを用意しようとする、あの建屋だけでも足りないかもしれないですし、いろいろな課題があると思っております。皆さん方が心配されていることの一つでも二つでもクリアできる方法はないかと探っていきたいと思っております。ワーキングチームや検討会議でどのようにまとまっていくか、皆さんも不安だと思っておりますが、少しでも不安を解消していききたいと思っておりますので、11月から始まる検討会議のなりゆきを見守っていただきたいと思っております。今ここで白紙撤回しろということに対しては、私の方からは、現時点で1年繰り延べという方針、最終的に村松幼稚園に統合するという事は申し上げさせていただきたいと思っております。

私も心苦しいし、ひどいと思われるかもしれませんが、私はこの時点ではこれ以上はなかなか言えませんので、そこはご理解いただきたいと思っております。

#### Gさん 質問①

統合を白紙にできないはっきりとした理由が理解できなくて、申し訳ないのですけれど、もう一度、それを白紙もしくはやめることができない理由を教えていただければよろしいですか。

Gさん 回答①〔村長〕

村が決定することなので、その決定を変えることはあり得ます。村としてはこのまま残すという方針ではないということです。園児数が減っているのは、統合していくという方針を固めて…。

Gさん 質問②

それは重々わかっている。そういうことを聞きたいのではなく、できないという大きな理由は何ですか。いま白紙にできない、初めからの状態にできない、大きな理由は何でしょうか。

Gさん 回答②〔村長〕

検討を進めていくときに、まず方針があり、どのような検討をするかと始めるので、再編をすべきかどうかというところまで戻ると、全く別の議論になってしまう。

Gさん 質問③

全く別な議論になってはなぜいけないのですか。

Gさん 回答③〔村長〕

ここでみなさんからは白紙撤回と言われてはいますが、白紙撤回するということは、「残す」という選択肢も含まれます。村としては、今の状況で「残す」という判断をしていないのです。

Gさん 質問④

皆さんがこんなにも熱くなるのは、子どもたちを守ってあげたいし、幸せにしてあげたいから、こうやって集まり、真剣に色んな意見を言われているのだと思います。その意見を今回聞いていただいて、統合をなくし、もしくは白紙にさせていただいたり、今の幼稚園を残すという流れになるのではないかという期待を込めて、私は参加させていただきました。今までの話を聞くと、「もう統合は確定であり、それを少し延ばすことは可能だが、統合は確定だ。だからみんなちゃんと理解してくれ。」と、そういう会だったと今初めて知りました。もし確定であれば、ここで参加する意義が私の中ではなくなってしまいます。大きな理由が何なのかだけは（知りたい）。決まってしまったのであれば、何を言っても撤回はされないということですね。

Gさん 回答④〔村長〕

行政運営上、施設を残すというのは、施設の維持管理費がかかりますし、そこを運営するスタッフの人員費もかかります。経営上の課題が判断の一つに入ってくるので、残せばそれだけお金も人もかかります。合理性は一定程度求めなければならないが、少人数（の園児）で残すのではなくて、統合して、先生方も新しい幼稚園に配置することで、厚く集中できるので、きめ細やかな対応ができると考えている。行政経営的なところの説明が不足して

いるので、それは後々、村が統合に至った行政的、財政的な説明について別途資料はお配りしたいと思います。総合的に考えると統合やむなしという判断になります。

#### Gさん 質問⑤

例えば、短時間で働くお母さん（例えば3時、4時までのお母さん）であれば、預かり保育があれば、保育園に通わなくても、幼稚園という名前ではなくして、皆さんが集まれるようなところにして（対応できるだろう）。もちろんフルで働かされている方は保育園・保育所がかなり重要だと思うが、短時間でもいいお母さんであれば、預かり保育や負担のかからないお弁当や給食が出るのであれば、（そのような施設に）待機の方達を少し回していただければ負担が軽くなると思います。預かりの時間やそのようなことを増やすことは統合することと金額的な面で比べると、お金がかかってしまうということでしょうか。

#### Gさん 回答⑤〔村長〕

今の須和間幼稚園と舟石川幼稚園の中で、預かり保育を6時までに延ばすことになれば、そこに職員も必要になり、新たに会計年度任用職員を雇うことになるため、運営費は一定程度負担がかかってしまう。また、舟石川幼稚園と須和間幼稚園（施設）の耐震補強はしているが、老朽化もしているのでいつまでも使えないことは目に見えています。すぐに壊れる訳ではないので、2、3年ならもつかもしれないが、施設をぎりぎりまで引っ張ることもどうなのかと思うところです。やはりそこは施設の問題と人の問題を考えた場合に、できるだけ早く統合した方が、全体の負担としては少ないだろうと判断しています。

#### Hさん 質問①

私は2年前に東海村に越してきました。生まれ育った日立市が好きですが、東海村の田舎らしさが良くて（夫も青森出身だが）、東海村がすごく好きということで、2年前に家を構え、子どもは須和間幼稚園に通っています。須和間に家を建てようと思った理由は、近くに公立幼稚園、小学校、中学校もあり、雰囲気も良く決めたのですが、なくなってしまうと聞き、また再来年入園させたい子もおり、残念に思うので、残してもらいたいと思っている。須和間幼稚園の跡地がどうなるかと思っていたが、「後々こども園になるかもしれない」という話を聞き、後々こども園を建てるのであれば、費用もあると思うが、チューリップ保育園のように保育を続けながら建て直しができれば、私立幼稚園の入園を考えていた人たちも、綺麗な施設になれば入園したいと思う人がいると思う。それに向けて、素人考えですが、まず子どものいる世帯に向けて、幼稚園と保育園のどちらを考えていますか。幼稚園を考えているのであれば、公立と私立のどちらを考えていますか。私立（希望）の方に、もし公立幼稚園が新たに綺麗な施設になったら移りたいと思いますかというアンケートを取ったらどうかと思いました。話がまとまらなくてすみませんが、須和間の風景は、緑が豊かでいいと思っています。そういった素朴な幼稚園がなくなってしまうのは親からしてもすごく悲しいですし、子どもが育った幼稚園がなくなってしまうのは子どもにとってもかわいそうだと思っている。こういう時代だから小さくて素朴で緑豊かな幼稚園を大切にしたいと私は思っている。偏見かもしれませんが、私立幼稚園は考えていない。日本人らしくお行儀も大切ですが、子どもらしくのびのびと、田舎の子らしく育

って欲しいと思っています。後々、村松幼稚園一つになってしまうと、私立幼稚園に通う人も増えてしまうのではないかと思います。私の周りの方でも（場所が）近いから、徒歩圏内だから、特に理由もなく私立幼稚園に通っている方もいることを聞きますし、須和間幼稚園がなくなってしまうと、なおさら（遠い）村松幼稚園に通うのであれば、私立幼稚園の方が近いしいやという考えの人が増えると思います。私の気持ちはこのような感じ です。

Hさん 回答①〔村長〕

須和間幼稚園と舟石川幼稚園，それぞれを残すことが難しいのであれば，統合して1つを残せないかと内部でもそのような議論はしてまいりました。いろいろなパターンを考えたのですが，新しく統合して作るとすると，場所をどこにして，どの程度の規模でと考えていくと，今後の財政運営を考えた場合に，そこまで投資できないと判断しました。各学年2クラスくらいの園児数が見込めるのであれば，新しいものを作って維持していく発想もありましたが，そこまで回復し，増えていく見込みが立たないということで断念したところです。単独幼稚園ではなくこども園として保育所と一緒に，幼保連携型のような施設も，保育園のニーズがまだ高いのであれば，そのような考え方もあるかと思いますが，子どもが全体的に減っていくのは目に見えているので，いずれ保育所ニーズもどこかで頭打ちになると考えると，5年先，10年先を考えたときにそれぞれの園が維持できるという確信はない。先の予測は非常に難しい。東海村がそこまで過疎化している状況ではないので，そこまで減らないだろうという方もいるが，楽観的に予想はできない，将来的な予測を考えると新しく建て替えるという選択肢がないということで統合はやむなしということでありました。役場としても最初から統合ありきではなくていろいろなパターンを考えてみたが，そこに新たに投資をしていくところまでは踏み込めませんでした。皆さん方からすると，やれることがあり，改善するかもしれないと希望的なご意見もあるが，こちらとしては，確証できるだけのものが見いだせないため，こういう結論に至ったところであります。幼稚園行政に対しての村側の見方と保護者側の見方がずれているかもしれないが，そこは行政がどうしてそこに至ったのか，説明が足りていないところでもあります。今日もいろいろ言われましたが，結局平行線になるので，変わらないのねと言われてしまうと，統合については，この決断を変える気持ちはないというのが正直なところです。

Iさん 質問①

先ほど村長は「今は白紙撤回する気はない」とおっしゃいましたが，もし検討会議で検討していく中で，村松幼稚園に集約だけではないという結論になった場合，白紙撤回や変更もありうるのですか。

Iさん 回答①〔村長〕

基本的な方針としては，統合に向けたところで検討会議をスタートするので，その最終的な目標が変わるということを想定はしていないが，検討会議でどういう話になっていくかはきちんと受け止めたいと思う。

Iさん 質問②

「結論は変わらないが、会議はする。」ということは、私は腑に落ちない。

Iさん 回答②〔村長〕

通園や交通安全対策，幼小連携等に対してどういう対応方法があり，どういうことが出来るかを検討してもらおう。同じことはできないけれど，良い部分をどれだけ新しい村松幼稚園で継承できるのかを検討してもらおう意味合いで立ち上げるものなので，再編について考える検討会議ではないということになります。

Iさん 質問③

私は、舟石川（地区在住）なので，村松（地区）のことはよくわからなかったのですが，現地に足を運んでぐるりと確認させてもらいました。非常に狭い生活道路で，駐車場もあるにはあったが，園児が200人になった際に満足のいくものでは絶対にありません。そもそも一番近くの大きい道路が毎朝，原研の通勤者で渋滞する。それをどう改善するのか。

Iさん 回答③〔村長〕

おっしゃる通りで，ご自身によるマイカーで登園する場合には今より渋滞するのは目に見えているので，どういう対策を取れるのか。冒頭でも言いましたが，一方通行にする案もあるが，地域に住んでいる人のご意見もあると思います。車を持っていない方がどうやって通園するかという課題もあるので，単純に考えるとスクールバスになるが，場所が狭いので，大型バスは入れない。そうすると小型バスの台数を増やして，短時間で登園できるようにするとか，そういうことを考えないと，現実的には預けたくても預けられない人が出てきます。そういう課題について解消方法を検討したいと思っている。

Iさん 質問④

このような重要なことをなぜパブリックコメントを求めずに，決めて，もう決まったことだからと説明する形をとられたのか。

Iさん 回答④〔村長〕

パブリックコメントはいろいろやり方がありますが，通常，村民全体に関わることをやっています。今回は幼稚園（利用者のみ）の部分なので，幼稚園に関わる保護者などに個別に説明していくという手法をとりました。まず，村の方針を説明差し上げて，ご意見を聞くとしましたが，説明をするタイミングが急であったため，皆さんにとっては唐突感もあったと思います。そういうことが積み重なり今日このような場になっています。

Iさん 質問⑤

まず，幼稚園に関わることだから幼稚園の家庭だけにしか説明しないということが間違っている。幼稚園に通わせたいと思う方は（村）外から越して来て下さるかもしれない。実際に家を構えた方もいらっしゃる。そうしたら，その後何十年も村で暮らして下さるわけじゃないですか。未来の村民なわけですよ。なのに，一番未来に投資できることなの

に、とても軽視されていると思います。

Iさん 回答⑤〔村長〕

当初、私も関係者が限られているということで、このような形で進めてきましたが、そこまで考えると、地域も含めて、幅広く説明すべきだったと反省しています。自分としても認識が甘かったということは素直に認めておりますが、今後については出来るだけ説明していきたい。遅かりしかもしれませんが、このような方針を決めた以上、できるだけ説明していきたいと思っています。

Iさん 質問⑥

方針の決定過程に問題があると思うのだが、なぜその方針を撤回、変更が言えないのですか。

Iさん 回答⑥〔村長〕

村の幼稚園行政も幼稚園教育も村の行政の一部なので、村として幼稚園の在り方を考えたときに統合していく方がいいだろうと方針を立てた。これは、村の内部の意思決定であるので、全ての住民の意見を聞かないと方針が立てられないわけではないと思っています。様々な政策がありますが、必ず住民の意見に沿ったものしか出せないわけではなくて、逆に言うと住民から反発されるものでも出さざるを得ない時もあり、今やっているサービスをやめたりすることも多々ありますので、その度にこのサービスをやめますから住民の意見を聞くことはやっております。ある意味、行政の方針として決めさせていただいております。

(会場から「では、選挙で言うしかないということですね。」と発言される方あり。)

Jさん 質問①

歴史と未来の交流館はどこから補助をもらって建てたのですか。

Jさん 回答①〔村長〕

あれは全部で18億円くらいかかります。7億円は基金を積み立てていてそれを充てています。

Jさん 質問②

昔は、50億円くらいあったのを全部使っちゃったでしょう。

Jさん 回答②〔村長〕

そのようなことはありません。7億円というのは、電源三法交付金といって原子力発電所関係のお金をもらったものを交流館建設基金として特別に積み立て、あとは一般財源を使っています。

Jさん 質問③

文部科学省とは関係ないのか。

Jさん 回答③〔村長〕

全然関係ありません。国の補助金は入っていません。

Jさん 質問④

文部科学省からお金をもらっているから、幼稚園を統廃合しろと言われたのかと思った。

Jさん 回答④〔村長〕

それは全く関係ない。別な政策の話です。交流館は生涯学習の観点でやっており、幼稚園教育は学校教育の観点でやっている。

Jさん 質問⑤

ほとんどの施設、体育館とかは、文部科学省から維持費とかをもらっているでしょう。

Jさん 回答⑤〔村長〕

電源三法交付金というのは、文部科学省系とか経済産業省系とかあるが、通常の補助金とは違います。村は原子力のお金を別に使えるので、直接、文部科学省から補助金をもらわなくても建設できます。

.....

〔村長〕本日の質問の中で、いくつかは資料として配布したい。統合となった場合に課題があることは十分認識しているので、その課題をどうやったら解決できるかという検討会議を始めますが、この再編統合をもう一回見直す説明会の開催を現在は、考えていません。

〔村長〕今日、このようなご意見をいただいたということは後で報告しますが、今日参加されなかった方からのご意見も全部受け、逐一お答えはしていきます。このような場は設けませんが、随時ご意見をいただければお答えしていきます。

(会場から「でも、変わりませんよね」と発言される方あり。)

〔村長〕統合そのものは、今は変える予定はありません。

(会場から「この時間は意味がなかったのではないかと思います。」と発言される方あり。)

〔村長〕説明会の趣旨がきちんと伝わっていなかったことは反省しております。再編そのものを、見直すための説明会ではないことは、周知の段階で足りなかったことは反省します。

.....

**【閉会】**

今日説明会にご参加いただけなかった方のためにも、村の方で今日のご意見等々をまとめまして近日中に村のホームページなどでお知らせをしていきたいと思えます。また、発言を頂けなかった方、お時間の都合もありまして申し訳ございません。この後も、村長に直接という話もありましたし、子育て支援課にご意見をいただければと思えますので、よろしく願いいたします。恐縮でございますが、以上をもちまして本日の説明会を閉じさせていただきます。